

久米  
寿号

第119号  
H25.4.1  
久米地区  
寿会連合会  
文化部

久米地区寿会連合会の活動状況

- 一月一日 『久米寿号(第一一八号)』 発行
- 一月十日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 一月十三日 『久米地区どんど焼き』に『三世代交流活動』で参加
- 一月二十一日 久米地区寿連 単位会長会議
- 二月五日・七日(計二回) 久米小三年生の『木工工作』授業に指導協力(久米小学校にて)
- 二月二十一日 久米地区文化祭実行委員会
- 二月十三日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 二月三十一日 『天神山の草刈り』(久米婦人会 主唱)に協力参加
- 三月十一日 『久米寿号(第一一九号)』編集会議
- 三月十一日 輝きクラブ周南女性部長研修会に二名参加(徳山社福センターにて)
- 三月十七日 『久米地区文化祭』(久米地区社協他共催)に協力参加(久米公民館にて)
- 三月十九日 久米地区社会福祉協議会理事会
- 三月二十五日 『グラウンドゴルフ初心者講習会』を開催
- 三月二十八日 『久米地区寿連親睦グラウンドゴルフ大会』開催

☆会員の訃報(敬称略)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます  
村上泰子(上南寿会)  
平成二十五年一月二十六日死去 享年六十九歳

川柳・短歌

妻のこと私の方が右左  
父さんは忘れんぼうと妻がいう

中尾利博

咲いたまゝ至福に充ちた落ち椿  
春雨の余韻を溜めて待つ桜  
夫と生き老後の小さな灯をともし

清花

曾孫と通訳つきで会話する  
相談はネットですます現代人

くめ・ひばり

浦安の夜空占むるディズニ一の  
春の花火の色鮮やかし  
空の色あかねに染めて初の日は  
水平線に出ではじめたり

石田敬子



寒あやめ

田中院内寿会 井上隆雄

友人から一昨年にももらった「寒あやめ」の一株が初めて咲いた。寒い時期に咲く「寒あやめ」は一月上旬頃から咲くと思っていたが、今冬は遅かったようだ。友人宅の「寒あやめ」も三月に入ってから咲きはじめてと言っていた。今冬は例年より寒さが強く、また長く続いたからだろう。初夏に咲く「あやめ」に比べ丈も低く、花の紫色も薄いかなかなか可憐である。



「寒あやめ」は畑の隅に植えているのだが、見れば畑の周囲の草追い地には種々の野草が咲きはじめている。オオイヌノフグリ、ホトケノザ、黄タンポポ、白タンポポ、花ダイコンなどである。引続きスミレ、キランソウ、ナズナ、チガヤなど一般的に雑草と呼ばれる草が咲く。草取りが忙しくなる。

三月に入り暖かい日が続いて、一気に春が来たと感じている。四月下旬には「山うど」が出る。「うど」の酢物、天ぷらは格別である。春は楽しい。

おふくろの味

上南寿会 斉藤恒郎

鮭は生まれた河の水の味を辿って産卵のための遡行をするそうだ。遙かな海を渡るアゲハマダラの小さい体のどこにそんな力と能力を秘めているのだろうか。こうした生物の驚くべき本能の鋭敏さに比べ、人間は道具や機器に頼ることで野生の力や本能を捨て去ってきたのだろう。

そんな人間にも味で繋がる一筋が「おふくろの味」だろう。お手軽食品の氾濫で、人が奥底に秘めている記憶の砦も何だか危うくなりそうだ。

妻の両親は周南の山間の生まれで、妻は周南以外で生活したことのない生粋の周南っ子である。一方私の父は周南の山奥生まれだが東京で暮し、母は相州小田原の海辺育ち。こうした母の味育ちの夫婦は「山の幸 vs 海の幸、関西風 vs 関東風」の対立である。旨い不味いではなく、味付けそのものの違いである。それでも何も問題にならなかったのは、自分で食事の支度をしなくて済むことが、新妻に鼻の下をのばしていたからか、私の寛容さか。さて、どれが真実だろうか？

友愛会訪問 上南寿会の恒例行事

上南寿会では、三月三日に恒例の行事となっている。独居老人を訪問し、チラン寿司と苺を届けました。毎年やっている行事で、独居の方々のささやかな楽しみになっていくそうです。

みなさんの声を聞いてみました。「おひな祭りらしく華やかで綺麗なお弁当で、とっても美味しかったです。」

「美味しいお寿司を頂き、生きる元気をもらいました。苺も新鮮で美味しかったです。」

「独居の方ばかりでなく寿会員全員にも配ってみんなで楽しみたい。」

「私たちひとり暮らしの老人に親切にして下さりうれしです。」

など感謝の声ばかりでした。(上南広報係 斉藤)

# 時代の交遷

上南寿会 山田定子

日記をつけて三十有余年になる。必ず記す事は、その日の天気である。天の四気とは、風、寒、暑、温らしい。私の日記には、雨、晴、曇位の記入しかない。四十年前前、小学校の休暇中の日記に、天気と気温を記入する欄があった様に思うけれど定かではない。日本の四季には、素晴らしい言葉がいっぱいある。例えば三寒四温など、心にひびく言葉がある。しかし、最近は外から来る邪気、西から飛んで来る。五気とも云うべきか。PM2.5、スモッグ、黄砂、また杉花粉が人々の生活を脅かしている。三十数年前、(つちふる)現象があった。当時自家用車が白であり、車の上に灰が降り、塗装が剥けた事も記憶している。又、美しい日本の四季には素晴らしい歌がいっぱいある。霞か雲か……、夕焼け小焼け……など、微細な水滴が日光を受けて、七色の虹や、夕やけ、朝やけは、子ども心に次の日を約束し、優しい心や、遅い身体を、幼少期に育んで来た。その頃は陰湿ないじめなどなかった様に思う。田舎で生まれ、田舎で育った私は、ふるさとが大好きです。経年劣化の症状が出ている私、遠い過去が懐かしく思い出されます。おわりに、最近の子ども達の遊びは、時代の交遷とは云えようだろう。杉花粉? 昔は竹鉄砲の玉は杉の花の蕾で遊んだ。近年は物で栄えて心で滅びている。今の子どもの遊ばしは遊びの中で小刀を使う事があるだろうか。過日飛行機に乗る機会があり、搭乗手続きで、財布の中に入った小さいカッターを没収されました。現在はこうした刃物の持ち歩きも物騒になってきている事を痛感しました。クワバラ、クワバラ

# 天国に旅立った友に

上南寿会 齊藤明美

あなたとお付き合いを始めた頃、突然あなたは「私はガンなんかでは死なないよ。まだやる事がいっぱいあるんだから」と強く言いました。主人の「其娷亭日記」の言葉通りその日暮して氣ままに過ごしている私にはショックでした。彼女は大好きなお琴ではリーダー格でみんなを引っ張り、娘さんの結婚の家具は得意の木彫りをされた由孫には手編みの服を送るとか……丹精こめた庭の薔薇が咲いた時にはお茶しようと呼んでくれましたたね。何事にも正面からぶつかっていく多芸の人でした。

去年暮れには「きょうのは今までで最高の出来だったわ!」とケーキを持参。お向かいの親友、岡本さんと呼んで三人で頂きました。手作りのケーキはしっかりとまるやかで最高に美味しくて幸せのひとときでした。なんとということそれが最後のお別れになるとは! 年明けに入院されあつという間にあなたは遠くに旅立ってしまいました。「じき帰って来るから心配しないで来ないでいいよ」とのメールを真に受けてお見舞いに行きませんでした。一番後悔しています。

長いお付き合いではなかったけど、あなたからたくさんエネルギーを貰って気分が若返り充実した日々が過ごせたことに感謝しています。

二年前キンテツと一緒に買ったミモザが今、満開です。黄金の花が咲き乱れ庭が明るく輝いています。初めての花と一緒に見られなくて残念です。あなたは天国からみますか? 泰子さん!

# 炬火夜話(十二)

中寿会 片岡 基

今年も我が家のささやかな年中行事の節分の豆まきと、おひなまつりを無事済ませた三月六日に、天神山の方から鶯の初音が聞こえた。折から紅梅、白梅、豊後梅等も満開であり、周南八十八ヶ所巡拝、即ちお遍路ももう直ぐである。十年ちよつと前、徳山に戻った翌年の春彼岸の三日間、花岡大師あかい坊の住職を先達とする四、五十人ばかりのお遍路に参加した。その初日は花岡から久米、落合から南下し太華山下の大踏まで歩いたが、坂本の親和館ではご近所の内山富子さんと藤井イネ子さんの接待を受けた。大変そうだったので翌年から彼女達の作業を手伝い、二人が引退した後は、その息子さん等と接待させてもらっている。

初めてのお遍路の道々、当時七十八歳とかいう先輩は、五、六歳の頃、父親に連れられ笠戸島を遍路した時の思い出話をした。接待に貰ったふかし芋と、さかづき一杯分の煎ったソラマメを布袋に入れて持ち歩く間に芋の中にマメがめり込んでしまい、何とも食べにくい代物になってしまったという。お遍路の魅力は、のどかな春の日に風に吹かれつつ田舎道を歩いていると自分が春の景色の中に溶け込み、その一点景になっている感じがすることである。周南八十八ヶ所の巡拝は、あかい坊の先代住職が戦後に始めたというが、既に六十年以上も続いている訳だ。先輩長老の思いもよらぬ幼時体験を聞いて、不図思ったが、そのような伝わってもしも伝えられなくても、どうということもないことが、不図したはずみで伝えられたりするものなのだ。日常茶飯の事柄についても同じかもしれない。まあ、そのようなことを漠然と考えるともなく考えながら、今年も一日、歩いてみようかと思っている。

(平成二十五年三月九日 記)

# 行事短信

## 久米地区寿連の親睦

### グラウンドゴルフ大会

三月二十八日(木曜)の午後、久米総合グラウンドにて「久米地区寿連の親睦グラウンドゴルフ大会」が開催され、二十八名が参加しました。心配していた前日の雨と当日朝の厚い曇空も、開始時間の頃は暖かく素晴らしい晴天となり、試合は個人戦で八ホール二ゲームの合計得点で勝敗を競いました。



ホールインワンも十本(二本打った方は二人も)出ました。得点は最高三十五点から五十九点までとなり、その結果、優勝は藤井勇さん(田中院内寿会)、準優勝は四点差で中嶋捷紀さん(東寿会)で、お二人にはそれぞれトロフィー(持ち回り)と賞品が授与されました。



優勝 中嶋捷紀さん  
優勝 藤井 勇さん

ブービー賞、ブービーメーカー賞、当日賞)、さらに今回はホールインワン賞も創設されて、それぞれ賞品が授与され、残念賞もあって楽しい一日となりました。